



第1図 遺跡位置図 (1/16000)

XI ハケ遺跡試掘調査

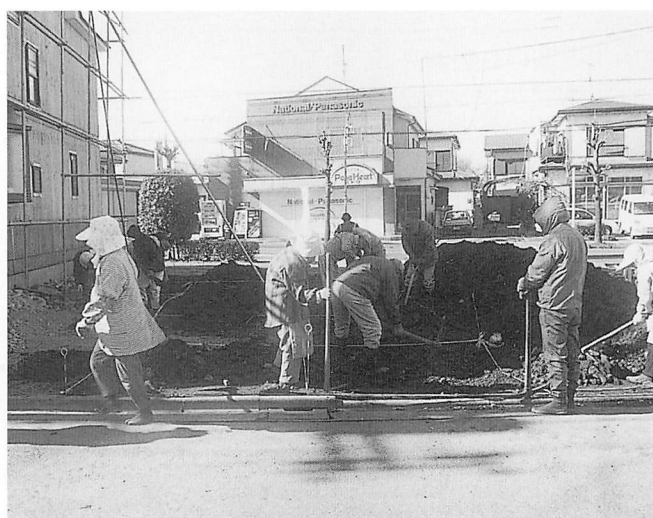
所在地	福岡 3 - 1884 - 8
原因	個人住宅の建設
調査面積	100.00 m ²
調査期間	H12.1.26
調査担当	柳沢健司
出土遺物	なし
遺構等	なし

調査区は、縄文中期の住居跡 4 軒と平安時代の住居跡 2 軒の検出された C 地区第 3 次調査区（昭和 63 年度実施）の道路を挟んだ隣接地で標高 15 m をやや上回る地点である。C 地区第 2 次調査（昭和 62 年度実施）及び第 3 次調査で確認された加曾利 E 式期の環状集落の続きの住居跡が確認される可能性が考えられたので試掘調査を行うことになった。

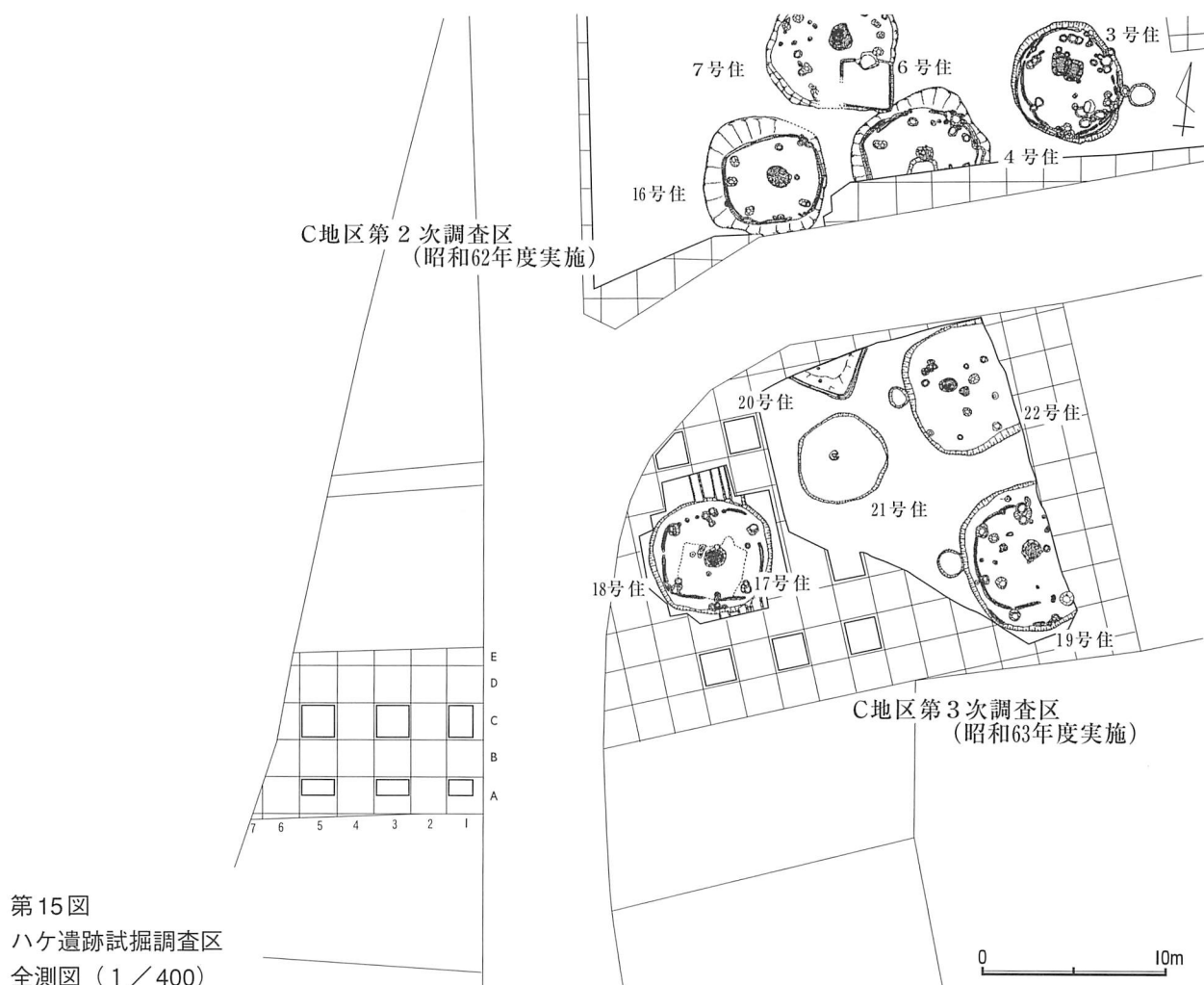
1 月 26 日、東側土地境界線を基準に南東土地境界杭から北へ向かって道路沿いに A～E 区、西へ向かって 1～7 区を設定し、人力にて 1 区おきに表土除去作業を行った。地表面より 45 cm でローム面に到る。旧福田屋復元工事の事前調査では、ローム面まで 80 cm あったため、新河岸川に近くなるにつれて表土の堆積が著しくなっていると思われる。遺構を確認するためにローム面の精査を行ったが何ら調査すべき遺構を確認できなかった。遺物も全く採集できなかった。当日中に埋め戻しを完了し、調査を終了した。



第 14 図 ハケ遺跡試掘調査区位置図（1 / 5000）



ハケ遺跡試掘調査作業風景（東より）



第15図
ハケ遺跡試掘調査区
全測図（1／400）

XII 滝遺跡の試掘調査

所在地	滝1-1-6
原因	宅地造成（土地分譲）
調査面積	511.09㎡
調査期間	H11.10.21～26
調査担当	柳沢健司
出土遺物	須恵器片、土師器片、ほうろく、 陶磁器破片等
遺構等	なし



滝遺跡試掘調査作業風景（南より）

滝遺跡は、標高9mの台地とその北西方向に位置する1段高い14～16mの台地上にある。12回の本調査が行われ古墳時代前期の住居跡4軒、同中期1軒、同後期3軒、飛鳥～奈良時代初頭1軒、奈良時代2軒、平安時代1軒を確認している。今回の調査区の位置は、古墳時代後期1軒、奈良時代2軒、平安時代1軒の計4軒の住居が確認された第2次調査区の南東50mで標高12mの地点である。地形としては上福岡貝塚のある台地か